

令和4年度 学校評価アンケート(前期集計結果)

富里市立浩養小学校  
校長 濱田 素子

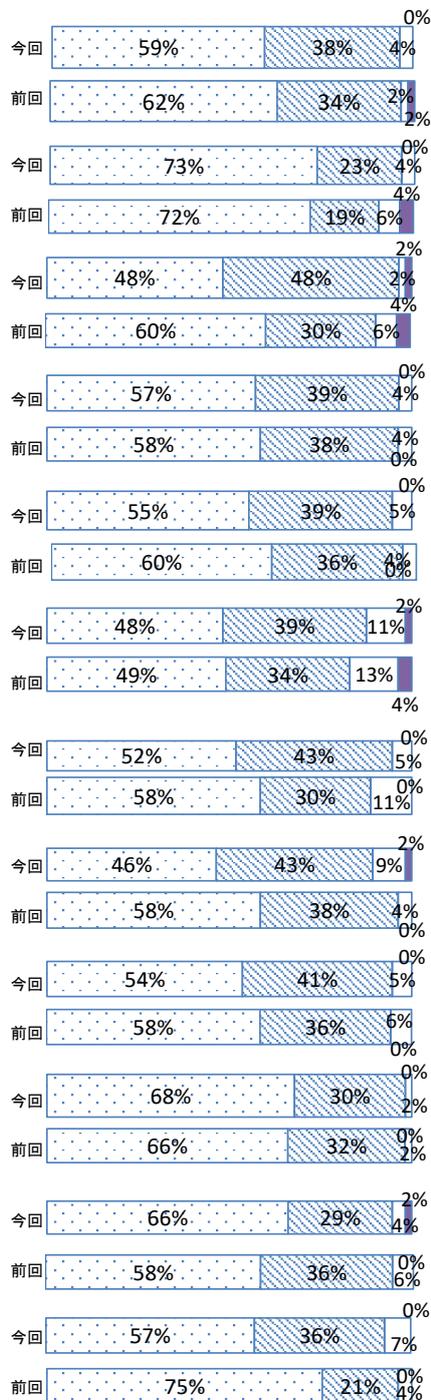
令和4年10月に実施いたしました学校評価アンケートの結果をお知らせいたします。また、学校としての自己評価(裏面)を行いました。これらの結果を基に、学校評議員の意見等を踏まえつつ、学校教育の一層の充実に努めてまいります。御協力ありがとうございました。

【表示の仕方と回答数等】  
 上段=令和4年度前期保護者(回答数 56人)  
 下段=令和3年度後期保護者(回答数 53人)  
 ※今年度から、家庭数を調査対象としております。

令和4年10月実施

そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
------	--------	-----------	--------

- 1 教育方針や教育目標をわかりやすく伝えている。
- 2 挨拶いっぱい、花いっぱい、笑顔いっぱいの学校づくりに取り組んでいる。
- 3 つまずきに対してきめ細かく指導したり、とみの国検定(2年~6年)の全員合格に向けた支援を行ったりするなど、基礎・基本の習得に力を入れている。
- 4 友達の考えを大切にしながら自分の考えを表現できる授業を行っている。
- 5 課題意識をもって学ぶ子ども、ブックリップや読み聞かせなどを通して本好きなきな子どもを育てようとしている。
- 6 子どもが家庭学習(学年×10分)を習慣化できるように指導している。
- 7 子ども同士がお互いのよさを認め合う授業を行っている。
- 8 大画面モニターや実物投影機を活用した授業を行ったり、一人一台タブレット端末を積極的に活用できる子どもを育てようとしていたりしている。
- 9 道徳の授業などを通して、子どもが自らきまりを尊重する態度を育てている。
- 10 学校行事などを通して、誰とでも協力できる人間関係づくりに取り組んでいる。
- 11 子どもの様々な問題について、いろいろな職員に相談できる体制になっている。
- 12 だまって掃除をするなど、学校を進んできれいにしようとする態度を育てている。





【自由記述欄から】－保護者アンケートから抜粋－

自由記述欄についてお書きいただいたことにつきまして、「⇒」の後に、学校からのコメントを添えております。紙面の都合上、また個人が特定されないような配慮から、一部を抜粋して掲載していることをご容赦ください。

○車での送迎の際、出入口が右側通行になっているはずですが定着しておらず、子供を降ろした後左側に寄って出て行こうとする車が多いので危険だと思います。再度案内を配付したうえで、運動会の時のように白線で矢印を書くなどしてはどうでしょうか。また、その案内の紙も度々配付されていますが、イラストの出入口の矢印がくっついていてわかりづらいです。修正して配付した方がいいと思います。

⇒御指摘のとおり、車で送迎の際、裏口の出入口で混乱が見られます。そのため、お迎えに来られた方一人ひとりにお声掛けしたり、白線を引いて誘導したりしております。ただし、白線に関しては、行事等の特別な場合など白線と誤解されることともあり、未だ定着しておりません。また、幼稚園前の縦列駐車列ということも定着しておらず、裏口付近で渋滞が発生することもあります。駐車場内の右側通行、幼稚園前の2列縦隊への御協力については、再度マチコミで周知していきます。

○夏休み中の奉仕作業の草刈りと排水溝掃除は、夏は暑いので涼しい時期に行って欲しい。また、草刈りは面積が広いので、ハンディタイプの草刈り機ではなく、自走式の大きな草刈り機で行った方が良くと思います。農家の方々はいろいろな器具を持っているので、相談してみてください。我が家にはありませんが、親戚が持っています。

⇒夏の暑い中ではございますが、PTA奉仕活動への御理解・御協力ありがとうございました。御指摘にありますように、今年度は大変気温が高い中での活動となりました。PTA奉仕活動の期日及び内容につきましては、PTA活動ということもあり、PTA本部役員会等で検討して参ります。なお、草刈り機については、第2回PTA奉仕作業についてのお手紙に「持ち物」として「草刈り機（持っている方）」を記載しておりますが、さらにマチコミやPTAのホームページを活用して周知を図っていきます。

○家庭学習について、担任の先生によって、宿題の量（時間）にかなり差があります。  
内容・分量等は担任の先生の裁量によるものかと思われますが、他の先生方同士と比較したり、チェックし合ったりする体制も必要なのではないでしょうか。

⇒家庭学習の目的は、家庭学習の習慣を目的としております。そのため、授業で学習したことの復習を中心に、学年×10分の課題を設定しておりますが、授業の進度や行事等の関係で、宿題の量に差が生じるのは御指摘のとおりです。

そのため、富里南中学校・富里南小学校と連携し、小学1年生から中学3年生まで自主学習の定着を図るよう手引きを作成しており、間もなく完成する予定です。完成の際は、自主学習の手引きを是非御活用ください。

○お金の扱いについて、封筒等に入れて子どもに持たせるお金（競書大会の申込料や購入物品等）は、親としてもきちんと渡せているかどうか不安なので、領収書までは要求しませんが、連絡帳に「預かりました」「受け取りました」の一言が欲しいです。

⇒学校での現金のやり取りについては、透明性を確保するためにも口座引き落としに移行しておりますが、少額でも手数料がかかりますので、保護者の負担を少しでも軽減するためにも集金にしております。その場合、領収書等が発行されないため、不透明な部分が残るのも事実です。そのため、今後は領収したことが分かるようお伝えいたします。

○学校での話を聞いていると、授業中にうるさい児童や、クラスメートが嫌がっているのにちょっかいをかけてくる児童がいるようです。元気がいいことは素晴らしいですが、公私のけじめ、他人のことを考えて行動できるように指導して欲しいです。とはいっても、指導方法にも制限があるでしょうし、もっと保護者と連携して家庭での子供への教育というのも必要かと思うので、情報の共有と一人一人の児童の足りないところの情報発信をした方がいいと思います。

⇒「授業中にうるさい児童」「クラスメートが嫌がっているのにちょっかいをかけてくる児童」に対しては、児童の人権を保障するという観点から、教育活動全体を通して指導するとともに、御家庭へもその都度情報提供をしております。

ただし、御指摘にもありますように、児童の人権感覚を育むためには、学校と家庭が連携して取り組むことが不可欠です。家庭と学校が協力して児童の人権感覚を育てていけるよう、御協力をお願いします。

○支援級に対する対応、発達障害がどのようなものかなど、支援の先生だけではなく、先生全体が把握しておくべきだと思います。

⇒特別支援教育や発達障害については、校外・校内問わず特別支援教育の専門家による研修を受けるとともに、支援が必要な児童に対する対応については、週に1度校内で共通理解を図る場を設けております。個に応じた支援ができるよう、さらに研修を深めて参ります。

○バザーはPTAで運営するものですが、もう少し学校の協力があっても良いのかなと思います。

⇒バザーの開催においては、一部の方に負担が偏らないよう分担する必要があります。分担のあり方については、いただいた御意見をもとに、本部役員会議や協議委員会に図って参ります。

○挨拶をしても返ってこない子が多く感じられます。朝は、特に気持ちの良い挨拶が大切だと思います。

○挨拶は、以前と比べてとても変化が見られ、元気な挨拶が聞かれる様になり、気持ち良く、又嬉しいです。子供の相談にも沢山時間を作ってください、話を聞いていただき、改善していく様に考えてくださっていることに感謝しています。ありがとうございます。これからも温かい浩養小であって欲しいと思います。

⇒挨拶については昨年度と比べ改善されている部分もありますが、引き続き「挨拶いっぱい学校」の実現に向けて意識化を図って参ります。

○毎日「学校楽しかった」と言いながら帰ってきます。少しずつ嬉しい成長も見せてくれるので、学校での御指導のおかげと感謝しています。先生方の心遣いが、子供達の優しさに反映していて、あたたかい雰囲気の中でのびのび学習できているのだと思います。また、コロナ禍でもできる限りの行事を行ってくださっていることもありがたく思っており、大変だとは思いますが継続していただくと嬉しいです。

○いつも先生方には感謝しています。家では、ゲームばかりで勉強をする姿はあまりなく、言えばケンカになるような娘を机に向かわせて勉強させて頂いてありがとうございます。給食も、家では野菜は全くといっていいほど口にしません。学校では1口でも食べさせて頂いているので私には感謝しかありません。本当にありがとうございます。

⇒学校として、ありがたく受け止めさせていただきます。また、教職員の励みになります。これからも、職員一同、一人一人に寄り添った指導の向上を目指して参ります。

## 令和4年度 前期学校評価(自己評価)

### 1 学校教育目標

心豊かな人づくりをめざして～知・徳・体のバランスのとれた子どもの育成～

### 2 本年度の重点目標

- 1 「地域に根ざした小規模校」としての強みを生かし、全職員が「温かい人間関係」を念頭においた教育活動を展開し、知・徳・体のバランスのとれた児童の育成を支える。
- 2 「めざす学校像」を教職員・児童ともに高く意識し、具体的に行動することにより学校の特色を出す。
- 3 「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す授業改善を推進する。

### 3 自己評価結果 (「割合」の欄は、「そう思う」「ややそう思う」を合わせた肯定的な回答の割合)

【取組状況の目安】 90%以上:A 80～90%未満:B 70～80%未満:C 70%未満:D

分野/領域	設問	関連する調査項目	割合	取組状況	改善の方策
全般	1	教育方針や教育目標をわかりやすく伝えている。	97%	A	設問2については、肯定的な回答の割合が前回よりも高まりました。設問1の教育方針や教育目標については、本校ホームページ「グランドデザイン」、またその実現に向けての取組「学校の様子」を御覧ください。
	2	挨拶いっぱい、花いっぱい、笑顔いっぱいの学校づくりに取り組んでいる。	96%	A	
確かな学力	3	つまづきに対してきめ細かく指導したり、とみの国検定(2年～6年)の全員合格に向けた支援を行ったりするなど、基礎・基本の習得に力を入れている。	96%	A	設問3については、「そう思う」の割合が前回より下回りました。今年度は、全校で視写や暗唱、百マス計算や認知機能を高める活動(「コグトレ」)、さらに算数科(4年生)では全時間少人数指導を行っております。今後も、基礎・基本の習得を図るため、きめ細かな指導に取り組んでいきます。 設問6については、前回とほぼ同じでした。南学園で共通の「自主学習の手引き」を活用し、家庭学習の定着を図っていきます。 設問8については、前回より下回りました。授業におけるタブレット端末に加え、家庭学習でもタブレット端末を活用できるようにしていきます。
	4	友達の考えを大切にしながら自分の考えを表現できる授業を行っている。	96%	A	
	5	課題意識をもって学ぶ子ども、ブックトリップや読み聞かせなどを通して本好きな子どもを育てようとしている。	94%	A	
	6	子どもが家庭学習(学年×10分)を習慣化できるように指導している。	87%	B	
	7	子ども同士がお互いのよさを認め合う授業を行っている。	95%	A	
	8	大画面モニターや実物投影機を活用した授業を行ったり、一人一台タブレット端末を積極的に活用できる子どもを育てようとしていたりしている。	89%	B	
豊かな心	9	道徳の授業などを通して、子どもが自らきまりを尊重する態度を育てている。	95%	A	設問11については、前回の回答の割合よりも上回りました。アンケート調査、教育相談員やスクールカウンセラーによる全員面談では、多くの声を聞き取ることができました。今後も教育相談の充実及びいじめの早期発見に努めていきます。 設問13については、前回は下回りました。今年度も特別支援教育専門員の助言も頂きながら取り組んでいるところではございますが、さらに適切な支援ができるよう研鑽を深めていきます。
	10	学校行事などを通して、誰とでも協力できる人間関係づくりに取り組んでいる。	98%	A	
	11	子どもの様々な問題について、いろいろな職員に相談できる体制になっている。	95%	A	
	12	だまて掃除をするなど、学校を進んできれいにしようとする態度を育てている。	93%	A	
	13	子ども一人一人の学習上又は生活上の困難さに対し、適切な支援をしている。	89%	B	
健やかな体	14	業間時間の活用や外遊びの習慣化を図ることで、子どもの体力づくりに取り組んでいる。	98%	A	設問15と16については、前回同様高い評価をいただいておりますが、「そう思う」の割合が下回りました。今年度は、「めあてをもって技能を高める」方策の一つとして、向寒マラソンの実施方法を変更します。 設問17についても、高い評価ではありますが、「そう思う」の割合は下回りました。引き続き、健康観察や消毒等の感染拡大防止策を継続していきます。
	15	体育の授業では、めあてをもって技能を高めるなど、運動好きな子どもを育てている。	98%	A	
	16	「こうようっこ健康チェック」などを通して、「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣化を図るなど、健康な生活習慣づくりに取り組んでいる。	95%	A	
	17	健康観察や消毒、来校者対策をはじめ、様々な場面で感染拡大を防ぐための取組を講じている。	98%	A	
安全学・安校心	18	学校は、子どもの登下校、教室環境、遊具等の安全に配慮している。	100%	A	設問18は、前回同様100%の評価をいただきました。今後も、日々の観察や安全点検を通して危険を早期発見・早期対応に努めていきます。
歩地域ととも学校に	19	ホームページの更新や学校便り・学年便りの発行等を通して、情報発信に努めている。	95%	A	設問20については、100%の評価をいただきました。運動会やバザーなど、今後も保護者や地域の方の声に耳を傾け、学校運営協議会(コミュニティスクール)を活用しながら一層連携した取組を行っていきます。
	20	地域の方やPTAと協力し合いながら、学校を運営している。	100%	A	
	21	十倉厚生園や幼稚園、青少年相談員、社会福祉協議会などの地域の関係団体等との交流活動を推進している。	98%	A	